

# 日本科学哲学会 第48回(2015年)大会

期日：11月21日（土）・22日（日）

場所：首都大学東京 南大沢キャンパス6号館

大会参加費：1,000円(非会員の方でもご参加いただけます)  
所在地：〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1  
交通案内：京王線相模原線「南大沢」駅 改札口から徒歩約5分

## 11月21日（土）

### 研究発表（10:00-12:00）

《A会場（6-401教室）》（10:00-12:00）司会：1-2 西脇与作（慶應義塾大学）、3-4 松本俊吉（東海大学）

- 森田 紘平（京都大学）・・・多世界解釈における存在論的創発の評価
- 藤田 翔（大阪大学）・・・時空の実在性と現代物理学
- 福井 誠人（慶應義塾大学）・・・ベイズ主義的な一般確率論による量子力学の原理探求の可能性
- 北村 哲紀（首都大学東京）  
・・・コンピュータ科学における「活性」とプライアーの「ああ良かった、終わった」

### ワークショップ（9:45-12:00）

I.「人工物の哲学」《会場：6-101教室》

オーガナイザ・提題者：倉田 剛（九州大学）

提題者：中山康雄（大阪大学）、植原 亮（関西大学）、木下頌子（慶應義塾大学）

II.「心の哲学と美学の接続点」《会場：6-402教室》

オーガナイザ・提題者：源河 亨（慶應義塾大学）

提題者：清塚邦彦（山形大学）、森 功次（東京大学）

### 理事会・評議員会・大会実行委員会（12:00～13:30）《会場：6-105教室》

### 総会（13:30～14:10）《会場：6-110教室》 総会后石本賞授与式

### シンポジウム（14:15～16:45）《会場：6-110教室》

「異分野融合の科学哲学」

オーガナイザ：菅原裕輝（国立循環器病研究センター）

提題者：丸山善宏（京都大学）、宮野公樹（京都大学）、戸田山和久（名古屋大学）

指定討論者：佐倉 統（東京大学）

### 特別講演（16:55～17:55）《会場：6-110教室》

講演者：保前文高（首都大学東京）

講演題目：「言語獲得の発達脳科学」

司会者：戸田山和久（名古屋大学）

### 懇親会（18:10～20:10）

会費：一般 5,000円 学生もしくは求職中の研究者 3,000円

会場：は一ベすと南大沢店（首都大正門前三井アウトレットパーク内）

## 11月22日（日）

### ワークショップ（9:45～12:00）

III.「哲学的時間論と物理学における時間について」《会場：6-101教室》

オーガナイザ・提題者：森田邦久（九州大学）

提題者：小山 虎（大阪大学）、青山拓央（山口大学）、平井靖史（福岡大学）

### 研究発表（10:00-12:00）

《A会場（6-401教室）》（10:00-12:00）司会：1-2 松阪陽一（首都大学東京）、3-4 柏端達也（慶応義塾大学）

- 横路 佳幸（慶應義塾大学・日本学術振興会）  
・・・同一性・名前・指標—ゲーチの相対的同一性説再考—
- 仲宗根 勝仁（大阪大学）・・・認識的二次元主義の哲学的コミットメントの明示化
- 島村 修平（ピッツバーグ大学）・・・外在主義・ドライ地球・推論主義
- 森 永豊（東京大学）・・・一人称代名詞と意味の多元性

《B会場（6-402教室）》（10:00-12:00）司会：1-2 金子洋之（専修大学）、3-4 飯田 隆（日本大学）

- 山崎 紗紀子（首都大学東京）・・・S4翻訳のモデル論的考察
- 高橋 優太（慶應義塾大学）・・・ゲンツェンにより指摘された「含意を巡る循環」について
- 稲岡 大志（神戸大学）・・・自然な図形と不自然な図形：幾何図形の二つの「意味」
- 鈴木 聡（駒澤大学）  
・・・間形容詞的な比較級のための論理の強制選択対比較確率論的な基礎

### 理事会・編集委員会・大会実行委員会（12:00～13:00）《会場：6-105教室》

### 研究発表（13:15～14:45）

《A会場（6-401教室）》（13:15～14:45）司会：服部裕幸（南山大学）

- 小倉 翔（一橋大学）・・・アクセス内在主義とメンタリズムの関係
- 高取 正大（慶應義塾大学・日本学術振興会）  
・・・存在論的コミットメントの概念とメタ理論的考察
- 横山 幹子（筑波大学）・・・脳内の神経活動と「知覚の選言説」

《B会場（6-402教室）》（13:15～14:15）司会：丹治信春（日本大学）

- 三富 照久（中央大学）・・・公理は自然法則か？—アリストテレス論証学と仮説演繹法—
- 田中 浩蔵・・・手続き思考について

《C会場（6-104教室）》（13:15～14:45）司会：戸田山和久（名古屋大学）

- 大橋 雄太郎・・・意識的現象の原理を探る
- 西村 純・・・意味はどう進化し、どう伝わるか？  
（ハンデルマンとハイデガーと形容詞語彙から考える）
- 三ツ野 陽介（国際武道大学）・・・因果と物語—物語的な因果関係と必然性

《D会場（6-101教室）》（13:15～14:45）司会：中山康雄（大阪大学）

- 小川 祐輔（筑波大学）・・・マクダウェルの『心と世界』はどのような議論によって概念主義を打ち出しているのか
- 和泉 悠（京都大学・日本学術振興会）・・・*De Se* Propositions and Predicates of Personal Taste
- 小口 峰樹（玉川大学）・・・言語なしの推論は可能か？—ミニマリスト・アプローチ—

### ワークショップ（15:00～17:15）

IV.「論理の基本概念の再検討」《会場：6-101教室》

オーガナイザ・提題者：菊池 誠（神戸大学）

司会者：飯田 隆（日本大学）

提題者：岡本賢吾（首都大学東京）、秋吉亮太（早稲田大学）

V.「道徳心理と社会認知」《会場：6-401教室》

オーガナイザ・提題者：信原幸弘（東京大学）

提題者：唐沢かおり（東京大学）、鈴木貴之（南山大学）

VI.「現代行為論の展開」《会場：6-402教室》

オーガナイザ・提題者：笠木雅史（京都大学・日本学術振興会）

提題者：鈴木雄大（専修大学・日本学術振興会）、鴻 浩介（東京大学・日本学術振興会）